

料金後納

ゆうメール

一幸建設は昭和53年の設立以来、三河エリアで地元密着での建築と不動産に携わる会社です。本来ならば直接ご挨拶申し上げるべきところ不躰ではございますが、私どもの会社を知っていただきたいとの思いから、一度でも名刺交換などでご縁を賜りました方に、ニュースレターを送付しております。仕事でかわった皆様にお力添えいただきながら、社員の幸せと日々の成長を糧に、地域の皆様に必要なとされる地元でのお役立ち企業を目指しております。

東三河での建築と不動産に関することでしたら、小さなことでもお気軽にご相談ください。

代表取締役 山本敬輔 営業スタッフ一同

未来を担う子供たちを応援

毎日ニュースを見ると、ウクライナ紛争やコロナ感染など、未来を憂いたくなる様な不安なニュースばかり。世界をひとつにする平和の祭典であるはずのオリンピック・パラリンピックが開催されている事も忘れそうになります。いつの時代も世の中の情勢が混乱する時、一番の犠牲となり翻弄されてしまうのは、子供や障害を抱えた方など、何の罪もない弱者です。子供の将来を憂う事のない大人はいないと思いますが、いち早く通常の生活、学業やスポーツなど、未来を担う子供たちが安心して生活でき、のびのびと成長することが出来る環境を取り戻すことを願います。

実際には私自身もこのような時には、不安や悩みに苛まれてしまう事が多いのですが、そんな時はいつも『道はひらける』（デール・カーネギー 著）などを読み返します。ベストセラーなのでご存じの方が多いと思いますが、『最悪の事態が降りかかったとしても、止む得ない場合は受け入れる覚悟を決め、内にこもりがちになるが、行動を起こすことで、不安や悩みを打ち消すことができる』という内容です。正直簡単なことではありませんが、我々の将来をも担う子供や若者達の未来を応援する社会環境は、常に維持をして行かなければならないと感じます。

子供たちの未来を応援!! ジュニアアスリート豊橋

ジュニアアスリートを応援するスポーツマガジン
Jr. Athlete
Take Free Sports Magazine
「ジュニアアスリート豊橋」
026

【夢追い人】
二宮 真樹
二宮 剛毅

【大会・イベント】
Jボール雪だるま杯
東三河少年少女空手道錬成大会
フットサルサマーカップ
スポーツ少年団空手道交流大会
河合徳治郎杯
根岸地区CUP
スポーツリメイク 野球講座

【チーム紹介】
桜丘中男子バスケットボール部
東陵中男子卓球部
羽田中女子バスケットボール部
幸田中野球部
FINS皇陵南男子バスケットボール部U12女子
幸田JVC
龍辺マックス

虎視眈々。



Q、少年時代から高校までずっと野球を続けた理由は何ですか？
幼いころは一人で頑張ろうとしていたけど、みんなを力に合せて試合に勝つというところが面白くなって、もうしたら勝つことが夢でした。野球が大好きからです。

Q、少年時代から高校までずっと野球を続けた理由は何ですか？
幼いころは一人で頑張ろうとしていたけど、みんなを力に合せて試合に勝つというところが面白くなって、もうしたら勝つことが夢でした。野球が大好きからです。

“地元で頑張る先輩”

一幸建設株式会社
工事部 (大工業)
2019年入社
永坂健太さん
野球歴
多米フリップス
東陽中野球部
豊橋工業野球部



Q、野球を続けてきたかたへは？
野球の守備では送球するときには相手と顔を合わせなくてはいけません。気配りの気持ちの大切さを身に付けました。またどうしたら勝てるか、またそれは何か必要かを考えることも学びました。野球を通して学んだことが、仕事で役立っていると思います。

Q、大工さんになろうと思ったのはいつ頃ですか？
中学の頃に父親をみて、父は大工をしており自分も大工になろうと思ったので就職先を決める時には、インターンネットなどでこの会社が面白い自分自身でいろいろ調べました。現在勤める一幸建設株式会社に入社後に「住友林業技術専門学校」という関連企業の訓練校で研修を受け様々な資格を取得できることを知り、現在の会社に就職することを決めました。

Q、今現在の夢は？
今は、自分が建てた家に住むお客さんから「ありがとう」と喜んでもらい、また感謝されるような仕事のできる大工になりたいです。友達や家族の家も建てて喜ばせたいと思っています。

地元の子供たちの未来を応援するジュニアアスリート豊橋に地元で頑張る先輩として取材して頂きました！『Jr. Athlete 豊橋』さんでは企業の広告掲載支援だけでなく、団体・個人の支援、協賛企業を募集しております。詳しくは同封チラシをご覧ください。

地元密着東三河での不動産と建築のことなら小さなことでもお気軽にご相談下さい！

※ニュースレターがご不要な場合はお手数ですが 0532-46-9336 まで

工法による進行の違い②

前回、軸組工法（以下、在来工法という）の上棟の様子をご覧いただきましたので、今回は枠組壁工法（以下、2×4 工法という）で建築中のもう 1 棟の上棟をご紹介します。地盤の上に基礎をつくることは同じですが、写真の通り上棟の様子が違います。



2×4 工法では、壁・床・天井の 6 面で支えます。基礎の上に床のパネルを組み、壁のパネルを組み、天井兼 2 階の床のパネルを組み…といったように面ごとに立ち上げていきます。1 階を組んでいる途中でも、壁があるのがはっきりわかりますね。

在来工法では、建物を支える構造体が柱・梁・筋交い・耐力壁なので、基礎の上に土台を組んで柱を立てていきました。筋交いを入れ、梁をかけ、屋根まで組んで雨仕舞いまで終えてから壁に取掛かりますので、途中では壁はありませんでした。

どちらの工法にもメリット・デメリットがあります。間取りを自由に決めたい。将来間取り変更を含めたリノベーションをする可能性がある。大きな開口部が欲しい。地震に強い家が欲しい。工期を短くして早く住みたい。コストをおさえて建てたい。お客様の求めることは様々ですので、ご希望に合ったご提案を心がけていきます。



営業・設計 山崎

地元で仕事をするために

私自身うどんが大好きでお昼は週に 3、4 回うどんを食べています。豊橋市では、昔ながらのうどん屋さんも多く、うどん好きの方も多いと聞いたことがあります。不動産の仕事をしていると地元の風習や文化を知ること大切な情報になります。色々な方と仕事をさせていただく中で、世間話であったり地元ならではの文化を教えていただくこともあります。都市計画法や宅建業法など法律もちろん大切ですが、地元密着した不動産業を続けていくには、地元の情報をたくさん知っていくことも、また一つのスキルアップにつながるかと思います。

先日、所属している商工会議所青年部の関連で香川県に出張する予定でした。うどん好きの私にとって初めて行く香川県はとても楽しみにしていましたが、残念ながら新型コロナウィルスの影響により出張は中止となってしまいました。今のところ香川県のイメージはうどんしかありませんが、コロナが収束し、旅行にいける機会などありましたら、また楽しみ方が変わるのかなと思います。

今後も文化や風習に、より興味を持って、仕事に活かしていきたいと思います。



建築不動産営業 筒井